

提出者氏名	阿部 貞康	末永 義人	半谷 善弘	西山 喜代子
研修日数	日帰り	-	日帰り	日帰り
テーマ	移住・定住の推進及び地域住民との交流	人口増加のための施策について	廃校活用について	高齢者が元気に活躍するまちづくりについて
目的	南相馬市内でも特に居住人口の少ない小高区において、新たに移住し定住してもらう方を増やすことは重要です。現在も全市あげて各種施策に取り組んでいますが、さらに推進するための方策はないか、一定の成果をあげている市町村を視察し、小高区で取り組むことができる施策を見つけることができればと思います。併せて、移住された方と従来から住んでいる方とのつながりを活発にするための方策も学ぶことができればと思います。	-	小高区の廃校舎の活用がなかなか見いだせず、施設も傷んできているので利活用について考えたい。	高齢者の割合が多い南相馬市において、もっと高齢者が元気に活躍するために
研修先	福島県内あるいは近隣県の自治体で、移住・定住施策に積極的に取り組んでいる市町村を希望します。	-	山形県高畠町：旧時沢小学校が大人の学び舎として、活用されているようです。 福島県三春町：旧沢石小学校は福祉型農業施設として活用されているようです。	-
その他	・研修参加者として、区役所移住定住担当者の同行を希望します。 ・南相馬市の移住定住施策の現状と課題の資料及び研修先の資料等の事前配布をお願いします。	-	-	-

提出者氏名	堀内 洋伯	末 芳治	杉 重典	志賀 由紀夫
研修日数	日帰り（オンライン）	日帰り	日帰り	1泊2日もしくは日帰りも可
テーマ	地域住民で取り組むまちづくり等	第一原発の現状	まちづくり（人口の増加）	まちづくり
目的	この地域で生活する人が高齢者も含めて積極手になってまちづくりに取り組めるようにする対策を考える。	処理水問題等色々ある事故後の現状を知る	限界集落とならないために、移住等の政策により、人口増加が図られている市町村の取り組みを学びたい	女川町は震災・津波で壊滅的被害を受けたが、町民が中心となり自治体が後押しをして復興事業に取り組んできた。その取り組み姿勢は参考になる部分が多い。 （研修目的） ①復興への町民・自治体の取り組み ②「稼ぐ街づくり」「コンパクトな街づくり」をコンセプトに街の魅力再生に取り組んできたが、現状認識と課題 ③今後の対応として「防御」：ひどいものを作らせない「保全」：よいものを残していく「創造」：よいものをつくり出していく姿勢を打ち出したが、その理由と課題。 ④都市再生推進制度の導入（錯綜する事業主体とトータルコーディネート）を検討しているが、その理由と課題。
研修先	-	福島第一原子力発電所	-	宮城県女川町
その他	-	-	-	自治体がトップダウンでまちづくりを推進したのではなく、「復興まちづくりデザイン会議」を創設し、復興事業に主体的に取り組んできた。その経緯はお伺いすることは参考になるものとする。

提出者氏名	志賀 由紀夫	志賀 由紀夫
研修日数	1泊2日	1泊2日
テーマ	住民の健康促進	移住政策
目的	新潟県見附市では、「日本一健康なまち」を目指し、「食生活」「運動・スポーツ」「生きがい」「健（検）診」の4つの分野を柱に計画を推進。健康に関心が薄い市民でも健康になれるハード整備や仕組み作りなどを通じ、住んでいるだけで健康になれる町を目指している。 ある実証検証では、体力年齢が30ヶ月で約15歳も若返る結果となった事例があった。また、住民が健康になることで医療費の削減、活動景品として商店街の商品券配布したことで、地域経済の活性化にも効果が得られている。 南相馬市の健康計画にも合致する施策でもあり、ぜひ参考としたい。	岩手県遠野市の移住政策は、①「遠野みらい創りカレッジ」による人勢育成②「地域おこし協力隊制度」による起業家人勢育成③定住推進組織「で・くらす遠野」によるワンストップ化。また、空き家リノベーションにも力を入れている。 南相馬市とほぼ同様な施策の中、移住政策の成功事例や課題などを意見交換し、今後の参考としたい。
研修先	新潟県見附市	岩手県遠野市
その他	見附市の人口約38千人。南相馬市と同規模。現在「健幸フェスタ2023」を実施中。	人口約25千人と規模的に南相馬市と大きな差はない。